

題 字 和 泉 哲 章

(新潟県書道教育研究会理事 新潟市立白南中学校長)

NO. 3 令和4年7月26日(火)  
発行 新潟県NIE推進協議会事務局

## 読解力・情報活用能力の育成とNIE

新潟県教育委員会 教育長 佐野 哲郎

言語は児童生徒の学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、現行の学習指導要領においても、読解力をはじめとする言語能力は、全ての教科等の学習の基盤となるものであると位置付けられ、その育成はますます重要になっています。

新聞は、取材や根拠を基にして事実を誤りなく伝える正確さ、要点をおさえた伝え方や結論の分かりやすさなどを備えたメディアです。新聞記事を用いて文章を正確に読み取ったり、情報を要約したりする学習は、読解力を育成するために有効な手段であると言えます。さらに、複数の新聞を比較するなどして、記事がどういう意図をもって書かれたのかを解釈する学習に取り組むことで、読解力を支える語彙力が強化されたり、出来事背景となる多様な知識や多面的な考え方を身に付けたりすることが期待できます。



また、新聞には、自分たちの住む地域の出来事から世界で起こっている出来事などの幅広い内容に加え、様々な立場の人の思いや願いなども記事として取り上げられています。このような新聞記事を教材として取り上げるNIEの実践は、読解力を育成するとともに、児童生徒の視野を社会へ広げる契機になりうると考えます。

OECDが2018年に実施した学習到達度調査(PISA 2018)では、月に数回以上新聞を読むと回答した日本の生徒の割合は21.5%であり、2009年調査よりも36.0ポイント減少しています。一方で、SNSなどの短く簡素化された言葉や、誰でも気軽に投稿できる動画等、インターネット上の情報に触れる時間が多くなっています。それぞれのメディアの特性を踏まえ、適切な方法で情報を収集・発信したり、情報の信ぴょう性を判断したりする情報活用能力の育成が一層求められています。そのためにも、インターネットの情報だけでなく新聞記事も参照しながら自分の考えをまとめ、児童生徒同士でまとめた考えを交流したりするなどの学習は重要であると考えます。

過日開催された「NIE情報交換会」では、近年急速に広まったICT活用の現状を踏まえ、教育関係者、新聞・通信社によりGIGAスクール構想とNIEの取組について協議され、実践委嘱校によるICTを活用した学習事例の紹介をはじめ、NIEの実践に関する情報提供がされました。今後、本協議会の活動がますます充実し、多くの学校で、一人一台端末の教育環境を生かしながら、新聞を有効に活用したNIEの実践が充実することを期待しています。

## GIGA スクールと NIE ～情報交換会～



第1回「NIE情報交換会」が、5月25日午後メディアシップ日報ホールで開催された。学校や行政の教育関係者及び新聞・通信社の代表ら56名が集い、「GIGAスクールとNIE」について情報や意見を交わした。

佐野新潟県教育長は、「新聞の活用は、新学習指導要領の育てたい資質・能力の育成に沿うものであり、とりわけ主権者教育の推進において重要である」と挨拶した。また、井崎新潟市教育長は「社会を生き抜く力を育むた

めには、情報活用能力が欠かせないとし、信頼のおける情報である新聞の活用が望まれる」と語った。

新聞社からは、小学校の出前授業で新聞を広げて生き生きと学ぶ児童の姿が紹介された。一方、実践委嘱校の校長や NIE アドバイザーからは、新聞活用の効果について触れながらも、GIGA スクールの浸透に対応し、データベースやデジタル記事の提供等、現場での NIE 推進のための環境整備を求める声が複数上がった。伊藤 NIE 会長は、「紙とデジタルの双方よさを、子どもの発達段階や場面に応じて使い分けて学びを深めていくことの大切さを指摘し、現場のニーズに対応した NIE を構築していきたい」と述べた。

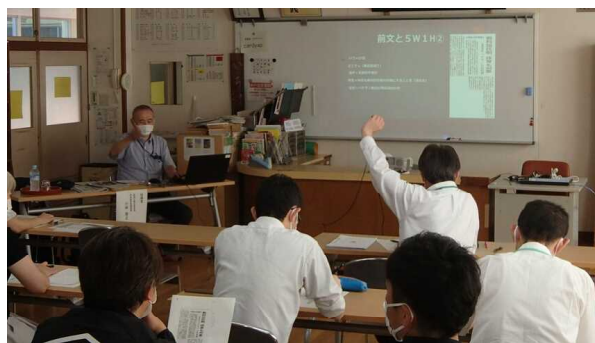
## 新聞活用の意義 新潟第一高等学校

5 月 26 日（木）実践委嘱校の新潟第一高等学校で、高校 1 年生を対象とした NIE 出前授業が行われた。講師は日本経済新聞社小田原芳樹新潟支局長が務めた。生徒は記者の仕事や新聞記事についての基本を知り、紙面を見ながら構成を確認して理解を深めた。また、広く普及しているデジタル新聞の活用法や、自分なりに物事を考える力を養うために新聞は必要であるということ学んだ。



生徒からは、「紙の新聞とデジタル新聞両方を利用しながら、様々な視点から考えられるようになりたい」「新聞を読んで様々なニュースに興味を持ち、今日本や世界で起こっていることに目を向けてみたいと思う」といった声が上がった。

## NIE スタートカリキュラム 出雲崎町立出雲崎中学校



6 月 2 日、実践委嘱校の出雲崎中学校（佐藤登校長）で NIE スタートカリキュラムの校内研修が行われた。講師は新潟日報社読者局の小林啓之未来読者推進室長が務めた。

「先生方が新聞記事を読み解くのが NIE の出発点である」と、紙面の構成や記事の基本について語った。職員は分かりやすい講義内容と、新聞記事の 5W1H を見つけ、見出しを考える演習などを通じて、新聞に対して新鮮な驚きと魅力を感じるとともに、実践研究

への意欲を高めた。

## 第 29 回 NIE 新聞記事感想文コンクール作品募集

新潟県新聞活用教育(NIE)推進協議会では、今年度も小学校、中学校、中高一貫教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒を対象に、新聞にちなんだ感想文を募集します。

記事を読んで、記事を選んだ理由、記事から考えさせられたこと、記事と自分の経験とのかかわりなど、これからの生活などについて書いてみましょう。〆切は 9 月 1 日（木）事務局必着。詳しい内容や用紙は県 NIE 事務局の HP で確認願います。たくさんのご応募をお待ちしています。

### <編集後記>

「時間がなく、休日以外にはほとんど新聞を読んでこなかったが、見出しや前文だけでも読むことが大切だと実感した」「普段はネットニュースを見ることが多いが、新聞の記事にはきちんとした裏付けがあることが分かった」これは出前授業に参加した教職員の声である。「日常的に新聞を読まない、新聞について知らない先生ばかりになれば NIE は揺らぐ」指導者の言葉も胸に染みる。真偽の定まらない情報が飛び交う時代だからこそ、新聞のもつ役割は大きい。新聞各社が情報をどのように価値づけて伝えているか。まずは教師が肩肘張らずに新聞を広げ、見出しを眺めたり、子どもに伝えたい記事を見つけたりすることから始めたい。

（事務局長：津野庄一郎）

# 本県 NIE を牽引する人たち

## <NIEマイスター>

川合 紀子 前糸魚川市立西海小学校 教諭

## <NIEアドバイザー> 日本新聞協会認定

|        |               |            |    |
|--------|---------------|------------|----|
| 山之内 朋子 | 柏崎市立柏崎小学校     | 教諭         |    |
| 泉 実    | 上越市立保倉小学校     | 校長         |    |
| 小池 修   | 上越市立頸城中学校     | 校長         |    |
| 岡村 範雄  | 上越市立三和中学校     | 教諭         |    |
| 柳澤 一輝  | 上越教育事務所       | 支援第一課      | 課長 |
| 関 慎太郎  | 新潟大学附属長岡小学校   | 教諭         |    |
| 井上 北斗  | 小千谷市立小千谷中学校   | 教諭         |    |
| 若林 靖人  | 小千谷市立小千谷中学校   | 校長         |    |
| 高澤 元   | 新発田市立御免町小学校   | 教諭         |    |
| 海老名 崇  | 新発田市立第一中学校    | 教諭         |    |
| 猪股 快門  | 佐渡市立小本小学校     | 教諭         |    |
| 古井丸 裕三 | 新潟市教育委員会      | 東区教育支援センター | 所長 |
| 生田 恵子  | 新潟市立東青山小学校    | 教頭         |    |
| 牛腸 昌克  | 新潟市立上所小学校     | 教諭         |    |
| 中村 康   | 新潟市立両川小学校     | 教諭         |    |
| 佐藤 宏欣  | 新潟市立東石山中学校    | 校長         |    |
| 蟻塚 幸子  | 新潟県立新発田商業高等学校 | 教諭         |    |
| 押木 和子  | 新潟県立三条高等学校    | 教諭         |    |
| 早川 勝志  | 新潟県立糸魚川高等学校   | 校長         |    |



## <NIEリーダー>

|        |              |    |
|--------|--------------|----|
| 熊木 恵美子 | 上越市立三和中学校    | 教諭 |
| 星野 敬子  | 新発田市立御免町小学校  | 教諭 |
| 落合 悠太  | 新潟市立内野小学校    | 教諭 |
| 小黒 淳一  | 佐渡市立新穂中学校    | 教諭 |
| 中山 智美  | 阿賀町立三川小学校    | 教諭 |
| 新沢 耕輔  | 新潟県立村上中等教育学校 | 教諭 |

## 2022 年 県 NIE 実践・研究委嘱校

### <新規（2022・2023 年度）>

|              | 校 長   | NIE 担当者 |
|--------------|-------|---------|
| 長岡市立越路小学校    | 栗林一志  | 坂井大空    |
| 胎内市立胎内小学校    | 池田裕之  | 新野真希    |
| 新潟市立松浜小学校    | 小坂井秀行 | 小池誠一    |
| 柏崎市立南中学校     | 池嶋正隆  | 小沢優貴    |
| 出雲崎町立出雲崎中学校  | 佐藤 登  | 久保田ひとみ  |
| 新潟県立長岡向陵高等学校 | 早川 智  | 櫻川景典    |

### <継続（2021・2022 年度）>

|             | 校 長  | NIE 担当者 |
|-------------|------|---------|
| 上越市立大潟町小学校  | 石田 永 | 植田雄也    |
| 燕市立大関小学校    | 大竹正宏 | 永野真衣    |
| 新潟市立白根小学校   | 井浦順子 | 高橋健一    |
| 小千谷市立小千谷中学校 | 若林靖人 | 井上北斗    |
| 新潟市立岩室中学校   | 本多 豊 | 宮下秀樹    |
| 新潟第一高等学校    | 藤澤健一 | 五島 拓    |

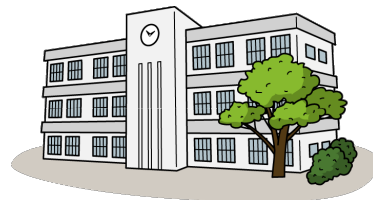


# 2022 年 新潟市 NIE 推進校

「未来の新潟を担う子供たちが、活字に慣れ親しみ、現実と学びを結ぶ新聞を活用した学習を通して、確かな学力を身に付けるよう NIE を推進する。」という趣旨のもと、今年度も下記の 16 校（校長） が指定を受け、活動を展開する。

岡方第二小学校（大原康史）  
竹尾小学校（小林裕之）  
笹口小学校（佐藤貴子）  
女池小学校（田中修二）  
亀田西小学校（石川 裕）  
結小学校（北村 宏）  
茨曾根小学校（引場裕子）  
西内野小学校（小柳裕司）  
黒埼南小学校（山口 潤）  
山田小学校（青木清美）  
岩室小学校（栗田 貴）

岡方中学校（小泉浩彰）  
上山中学校（白石誠史郎）  
小合中学校（太田公仁）  
中野小屋中学校（潤間るみ）  
高志中等教育学校（灰野 仁）



## ICT を活用した N I E の可能性を探る

### — NIE 北信越ブロック新潟大会 浜浦小学校 —



N I E の北信越ブロック NIE アドバイザー・事務局長会議（新潟大会）が、7 月 8 日新潟市中央区の浜浦小学校（齋藤純一校長）で行われた。本県で行われるのは 2014 年以来。本県と福井、富山、長野各県の NIE 関係者が約 20 名、新潟県内の教育関係者が約 25 名、6 年生の道徳の公開授業を参観。ICT と新聞記

事を使った指導について協議を行った。

本会議は新型コロナで 3 年ほど延期されていた。授業は網膜レーザーの医療機器開発者と全盲の学者のインタビュー記事をもとに、共生社会の在り方を考える内容。授業者の小林隆史教諭は、「みんなが同じように見えることは良いことなのか」と問題を投げかけた。子どもたちは「視覚も聴覚も技術で補える時代」の記事を読み深め、仲間との意見交流を通して、異なる感覚や考えをもつ人が大事にされる社会の大切さに気付いた。

協議会では、「新聞記事の教材化の工夫、教材提示の仕方が素晴らしい」「互いの発表を聴き、意見を述べ合う学級風土がよかった」と評価。最終的に「『あなたなら』、と自分事に置き換えて考えさせてもよかった」という意見も聞かれた。

関口修司コーディネーター（日本新聞協会：東京）は、「タイムリーな記事は、子どもたちと社会を結び付け授業を活性化させる、本授業はとおきの NIE であった」と評価した。伊藤充会長は、「授業者の資料探し、教材発掘の執念が素晴らしい。全国に誇るべき教職員集団である」と称賛した。新聞界を代表して石山真新潟日報社取締役は、「学びを深めるための新聞活用であり、今後も子どもたちが新聞を読み、親しみ、学ぶ意欲が高まるように支援していきたい」と話した。